

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

中国市場の炭素材料関連製品の動向

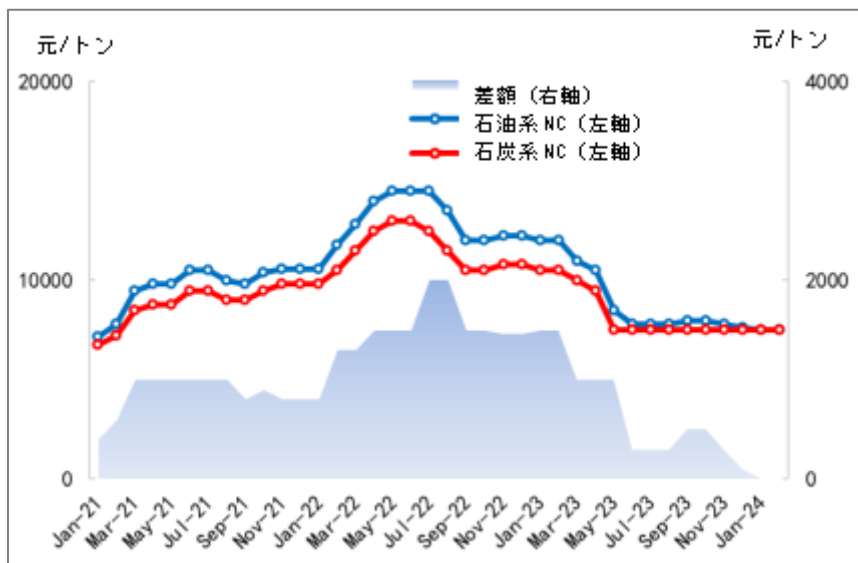
(2024年2月)

1. ニードルコークス

中国ニードルコークス（以下、「NC」）の2024年2月の市場価格は安定していた。多くの石油系NC企業は正常に稼働していたが、原料のオイルスラリーの価格上昇をうけたことにより利益は縮小した。2月末のNC価格は下記の通りである。

● 中国国産NC価格（1元=21.23円で換算）

- 石炭系NCは7,500~8,500元/トン（15.92~18.05万円/トン）
- 石油系NCは5,800~8,000元/トン（12.31~16.98万円/トン）
- 石炭系、石油系生コークスは4,500~5,000元/トン（9.55~10.62万円/トン）



出典：ICC 資訊

図1 石油系NCと石炭系NCの価格推移（2021年1月~2024年1月）

● 輸入NC価格（1ドル=150.63円で換算）

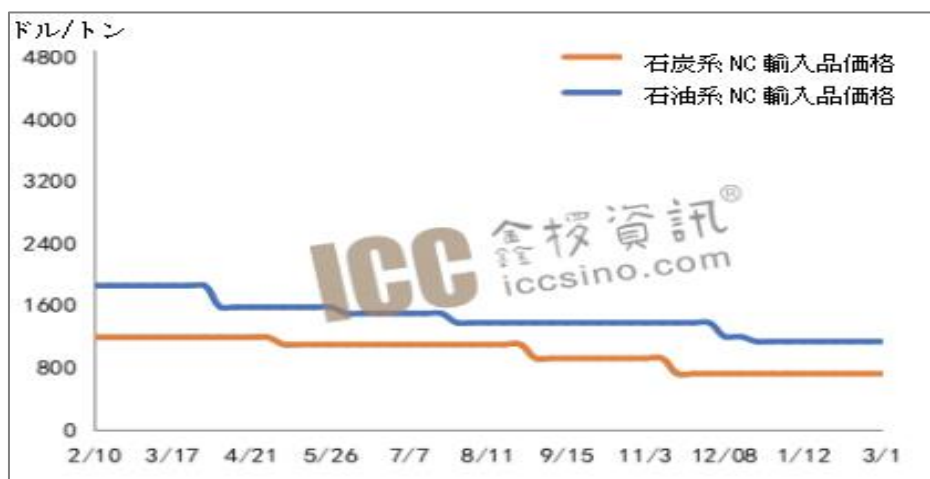
- 日本の石炭系NCは600ドル/トン（9.04万円/トン）
- 韓国の石炭系NCは850ドル/トン（12.80万円/トン）
- 英国の石油系NCは1,000~1,100ドル/トン（15.06~16.57万円/トン）
- 日本の石油系NCは1,100~1,300ドル/トン（16.57~19.58万円/トン）
- 負極用コークスは650~800ドル/トン（9.79~12.05万円/トン）

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20～3,301

TEL: 045～717～8575 FAX: 045～717～8683

原料側では、2月はコールタールの需給逼迫による値上がりが続いたため、石炭ピッチの価格が上昇した。月末の改質ピッチの価格は5,200～5,350元/トン（11.04～11.36万円/トン）、中温ピッチは5,200～5,300元/トン（11.04～11.25万円/トン）であった。低硫黄分オイルスラリーは供給量が減少し、価格が上昇した。この上昇傾向は3月も続くと予想されている。



出典：ICC 資訊

図2 NC 輸入品の価格推移（2023年2月～2024年3月）

2. 石油コークス

2月の石油コークス市場は安定していた。低硫黄分コークスの価格は月初めに上昇したが、春節前後（2月中旬）は安定していた。2月末現在、大慶石化 1#A の価格は3,260元/トン（6.92万円/トン）、撫順石化 1#は3,390元/トン（7.20万円/トン）、大港石化 1#A は2,900元/トン（6.16万円/トン）、錦西石化 1#B は2,990元/トン（6.35万円/トン）、錦州石化 1#B は2,900元/トン（6.16万円/トン）、安慶石化 3#A の価格は2,940元/トン（6.24万円/トン）であった。

低硫黄分煅焼コークスの需要が減少したが、原料コスト高のため価格は堅調に維持された。錦西石化の生コークスを原料とした煅焼コークスは3,800～4,000元/トン（8.07～8.49万円/トン）、撫順石化の生コークスを原料とした煅焼コークスは5,000～5,100元/トン（10.62～10.83万円/トン）であった。

3. 黒鉛電極

2月の黒鉛電極価格は安定していた。原料の石炭ピッチの価格上昇によって、黒鉛電極のコストは小幅に上昇した。春節前後に電炉製鉄企業の稼働率が低下し、黒鉛電極の需要も低下した。大型黒鉛電極企業はほぼ正常に生産を維持した一方で、春節期間には中小企業の多くが生産工程の一部を停止したり、春節後に生産規模を拡大したりした。

2月末現在、UHP400mm 規格黒鉛電極の価格は16,500～17,500元/トン（35.03～37.15万円/トン）、UHP450mm 規格（NC含有量が30%）は16,500～17,000元/トン（35.03～36.09万円/トン）

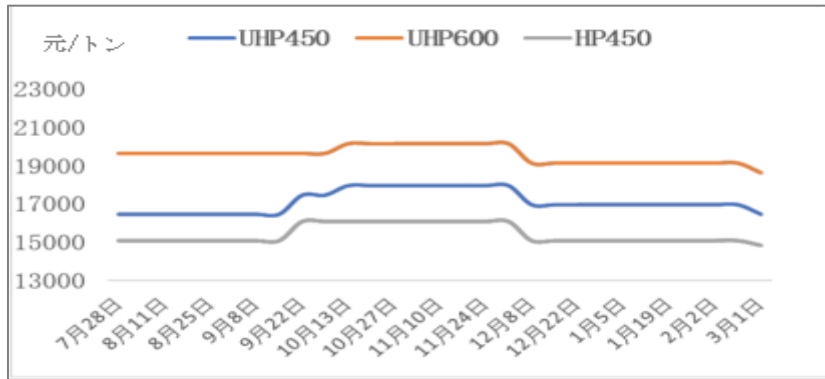
CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

円/トン)、UHP600mm 規格は 19,000~20,000 元/トン (40.34~42.46 万円/トン)、UHP700mm 規格は 23,000~24,000 元/トン (48.83~50.95 万円/トン) だった。

3月に入ると電炉製鉄所の稼働率が回復して黒鉛電極の需要が高まった。原料のコスト上昇もあり、黒鉛電極の取引価格は小幅な上昇になると予測されている。

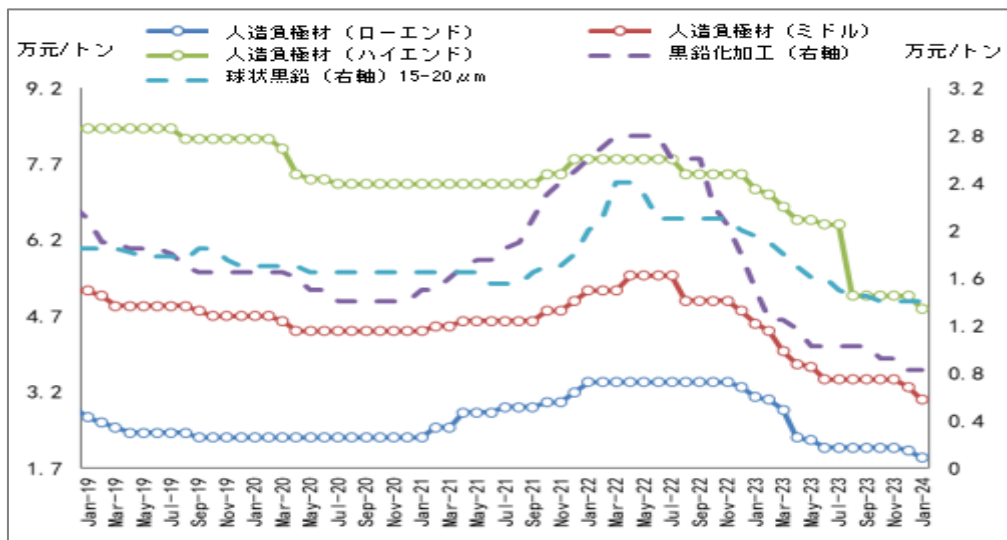


出典：ICC 資訊

図3 製品別黒鉛電極の価格推移 (2023年7月~2024年3月)

4. 負極材

2月の負極材企業の稼働率は低迷した。月末の需要増から稼働率は徐々に回復している。負極材価格は軟調に推移し、企業の利益は少なかった。蓄電池市場の需要が横這いで推移した一方、動力電池の需要は明らかな回復を見せた。これは主に北京、上海で開催されたモーターショーの集客効果や、大手自動車メーカーの激しい価格競争による一部の車種の販売量増加と動力電池の需要増によるものである。



出典：ICC 資訊

図4 負極材と黒鉛化加工の価格推移 (2019年1月~2024年1月)

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

黒鉛化加工市場は低迷が続いた。負極材企業の多くは自社で黒鉛化加工を行い、外注の需要は明らかに縮小した。黒鉛化加工の価格は低く利益が出ないため多くの企業は生産を停止した。

炭素材料関連製品価格表（2024年3月1日）

製品	指標	税込価格（トン当たり）	
		人民元（万元）・米ドル	日本円（万円）
石油コークス	1#A	0.29~0.34	6.16~7.22
	1#B	0.29~0.30	6.16~6.37
煨焼コークス	低硫黄分	0.39	8.28
石炭ピッチ	改質ピッチ	0.52~0.54	11.04~11.46
	中温ピッチ	0.52~0.53	11.04~11.25
被覆ピッチ	軟化点 200	1.10~1.15	23.35~24.41
	軟化点 280	1.75~1.80	37.15~38.21
中国 NC	石炭系生コークス	0.58	12.31
	石炭系煨焼コークス	0.75	15.92
	石油系生コークス	0.49	10.40
	石油系煨焼コークス	0.75	15.92
海外 NC	石炭系（日本）	600	9.04
	石炭系（韓国）	850	12.80
	石油系（日本）	1,100~1,300	16.57~19.58
	石油系（英国）	1,000~1,100	15.06~16.57
黒鉛電極	UHP450mm	1.65~1.70	35.03~36.09
	UHP450mm (NC 含有量 30%)	1.60~1.65	33.97~35.03
	UHP550mm	1.75~1.85	37.15~39.28
	UHP600mm	1.85~1.95	39.28~41.40
	UHP650mm	2.00~2.10	42.46~44.58
	UHP700mm	2.20~2.30	46.71~48.83
黒鉛化加工	/	0.75~0.90	15.92~19.11
天然負極材	ローエンド	1.80~3.00	38.21~63.69
	ミドルレンジ	3.50~4.20	74.31~89.17
	ハイエンド	5.00~6.50	106.15~138.00

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

人造負極材	ローエンド	1.60~2.20	33.97~46.71
	ミドルレンジ	2.30~3.80	48.83~80.67
	ハイエンド	4.90~7.80	104.03~165.59
球状黒鉛	大球 (15~20 μ m)	1.30~1.50	27.60~31.85
	小球 (6 μ m)	1.85~2.05	39.28~43.52
天然黒鉛	黒竜江	0.34~0.37	7.22~7.86
	山東省	0.37~0.40	7.86~8.49

注1：中国国内価格は税込み出荷価格で、単位：万元/トン、1元=21.23円で換算。

注2：海外NC価格はCIF価格で、単位：ドル/トン、1ドル=150.63円で換算。

情報源：ICC 資訊より